

雪害

暴風雪だけでなく、除雪作業にも危険があります。

被害を減らす心得 ▼チェックしましょう!

- ☑ 天気予報で「数年に1度の猛吹雪」「外出は控えて」などの言葉があれば暴風雪に警戒を。
- ☑ 暴風雪のときは外出しないことが最も安全です。普段から家の中で安全に過ごせる準備をしましょう。

! 知る ~いざというとき、正しく判断するために

雪の危険

暴風雪は、降っている雪と風で巻き上げられる雪で視界が真っ白になり大変危険です。どのような危険があるか十分に把握しておきましょう。

- 吹きだまりができ、車が発進できなくなることもある。
- 車や暖房機の排気口が雪で埋まると一酸化炭素中毒の危険がある。
- 暴風雪の中では雪で数m先も見えず歩行が困難。低体温症の危険も。
- 除雪作業中は屋根からの落雪、転落などの事故が多数発生。



🔧 備える ~被害をおさえるために

被害に遭わないための対策を

- 悪天候が予想されるときは最新情報や道路情報などを十分に確認する。
- 停電に備え、懐中電灯、防寒具などの備蓄品を準備・点検しておく。
- 暴風雪が予想されるときは無理をせず外出を避ける。
- やむを得ず車で外出するときは十分に備える。
- 車が立ち往生したときは、原則エンジンを止め、救助を求める。
- 車や家の排気口がふさがらないよう除雪を行い、換気に注意する。
- 家の除雪作業は2人以上で行い、命綱・携帯電話を身に付ける。
- 屋根からの落雪に十分注意する。

(車に備える備品)

車に備える備品(例)	点検日
防寒着、長靴、手袋、毛布など	/
スコップ、牽引ロープ、ブースターケーブル	/
飲料水、非常食など	/
十分な燃料	/



(緊急時の連絡先)

● 道路緊急ダイヤル ☎ #9910

● JAF ロードサービス ☎ #8139

竜巻・雷

積乱雲の接近により、竜巻・雷が発生するおそれがあります。

被害を減らす心得 ▼チェックしましょう!

- ☑ 天気予報で「雷を伴う」「大気の状態が不安定」「竜巻などの激しい突風」などの言葉があれば、厳重に警戒を。
- ☑ 積乱雲が近づく兆しがある場合は、危険な場所を離れ、丈夫な建物などへ避難する。

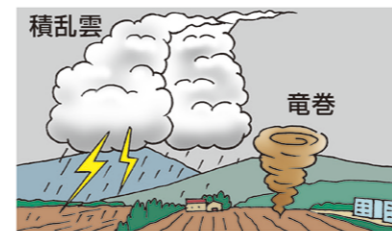
! 知る ~いざというとき、正しく判断するために

気象情報と危険状況

日頃から天気予報などを確認し、積乱雲が発生しやすい状況か把握しておきましょう。外出時の状況と行動をイメージしておくことが大切です。

積乱雲により起こる

大雨による急な増水や雷、竜巻が発生する可能性があります。



気象庁からの注意情報

竜巻注意情報

発生のおよ1時間前に発表
まさに竜巻の発生しやすい状況
を注意喚起

空の様子に注意し、積乱雲の接近
を感じたらすぐに安全な場所へ。

雷注意報

発生のおよ数時間前に発表
落雷、ひょう、竜巻の情報
による災害を注意喚起

外出前には最新の注意報を
確認する。

🔧 備える ~被害をおさえるために

危険状況の把握

真っ黒い雲の接近、雷の音や光、冷風
などは積乱雲が近づくサインです。



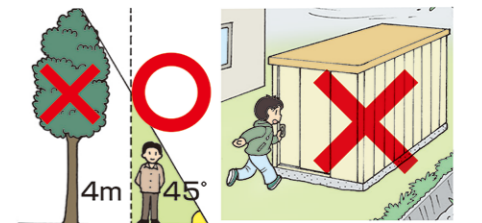
安全な場所の把握

頑丈な建物の1階、窓や壁から離れた
ところが安全です。



危険な場所の把握

木の下や公園など周囲の開けた場所
は落雷のおそれがあり危険。
竜巻の際は物置や車庫、プレハブ
の中は危険です。



🚶 避難する ~安全を確保するために

積乱雲の接近を感じたら、その場に留まらず、すぐに屋内に避難し身の安全を確保してください。

竜巻が起きたら

- 頑丈な建物の中へ避難する。
- 避難する場所がない場合は、物陰やくぼみの中へ。
- 屋内では中心部に近い窓のない部屋へ。
- 窓やカーテンを閉め、机の下に入り、頭を守る。

雷が起きたら

- 雷鳴が聞こえたらすぐ避難する。
- 建物の中や自動車の中へ避難する。
- 避難する場所がない場合は姿勢を低くする。

遠軽町の防災情報

遠軽町の避難所には、住民の皆さんに分かりやすく覚えていただくために、右のような看板を設置しています。

